



発行：認定NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク
〒028-0514 岩手県遠野市遠野町28-5
tel:0198-62-0601 fax:0198-62-0602
mail:tourism@tonotv.com
hp:http://www.tonotv.com/members/yamasatonet

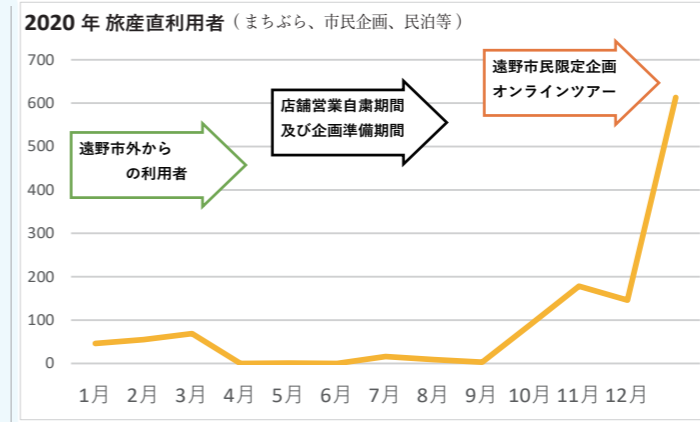
コロナだけでなくできること、コロナだからできること

東日本大震災から10年。復興なかにばに昨年は新型コロナウイルスに翻弄された1年となりました。

令和2年1月に新型コロナウイルスの国内感染が確認され、3月11日にはWHOがパンデミックを宣言。4月16日には特措法に基づく緊急事態宣言が全国に発令されました。以降変異株ウイルスの感染が拡大し、感染対策の徹底や移動制限がなされ、教育旅行が全てキャンセルになるなど、事業運営に大きな影響が生じました。

このような中、当法人では「コロナだけでなくできること」「コロナだからできること」をモットーに各種事業に取り組ましました。事業最終年度となる「農林水産業みらいプロジェクト」では、「遠野旅の産地直売所」を拠点に市民を対象としたマイクロツーリズムの推進やオンラインを活用した事業を実施しました。また、農家民宿や農家レストラン開業のサポートを行い、旅館業法新規1軒、旅館業への変業2軒、住宅宿泊法新規3軒、食堂等の営業許可7軒と次年度につながる成果を得ることができました。

10年目となった被災地への後方支援活動は、主に災害復興公営住宅等でのコミュニティづくりを目的に、県補助事業2件、大槌町・陸前高田市の補助事業2件に取り組みました。法人運営では、税制上の優遇措置が受けられる認定NPO法人として5年間の更新が認定されました。



- 【退職者】**
長年、民泊事業等に就いていた浅沼亜希子が自己都合により退職いたしました。引き続き理事として活動します。
- 【被災地支援スタッフ】**
松永いづみ
小澤ゆう子
- 【旅産直スタッフ】**
徳吉敏江
西村愛実
鳥屋部亜紀

新年度を迎えて

2021年度を迎え、コロナ禍の波は治まるところを知らず世界中が混乱しています。巷ではオリンピックの開催がどうか、かまびすしい日々がしばらく続きそうです。

今年度に入って、今まで教育旅行の子供たちを受けた経験のある家庭をスタッフが手分けをして訪問しています。ほぼ二年間お休み状態でしたので今後に向けた意向をお伺いするためです。皆さんの気持ちはずながついて前向きなことに感謝をしています。新たに10軒ほどの参加者も加わりました。

コロナの問題は、今まで見えなかった世の中の状況が見えてくるようになったとも思います。ある訪問先では、「コロナの対応にはがっかりした。日本はもっとうっかりした国だと思っていたのに・・・」確かに・・・もし後藤新平ならどうしたであろうかなどと考えてしまいます。

わが「旅の産直」でも新たなことが見えてきました。「マイクロツーリズム」と言われている中、市民向けのツアーを企画したところ大変好評を得ています。私たちが遠野で作っている旅のコンテンツは、市民にも支持されています。この

ことは、遠野を訪れる日本人や海外の人たちにも支持されていることは実証済みです。今私たちがやっていることは普遍的なものであるに違いないという自信にもなっています。

時にグリーン・ツーリズムは大きなテーマパークと対比され、テーマパークは人々の想像力をながしるに、一方的に押し付けた罪は大きいとする批判もあります。

一方、わが遠野では、「昔話は見るもんだ」「絵本は聞くもんだ」と言われ聞く人や、見る人の想像力を掻き立てる手法です。「遠野のこと」を旅のコンテンツに仕立てるのは大変難しく、やりがいのあることです。私達の挑戦は続きます。

「明けない夜はない」の如く、ワクワク効果もありこの秋ぐらいいから人々の動きが始まるのではと思っています。今年度は震災10年という節目であり、事業やスタッフも少なくなっています。今年も「旅の産直」中心に頑張ります。今年も応援よろしくお願いいたします。



遠野盆地の夜明け

2021年度も動き出しています



遠野旅の産地直売所は、7月から通常営業します。本格始動に際し、地元スタッフの市民感覚で創り出す好評企画「遠野市民限定『地元を楽しもっ！キャンペーン』」の第2弾を実施します。今回も「機会があれば行ってみたいところ」「旅産直と地元の方との限定コラボ企画」をテーマに、新企画となるまちぶらワークショップやちゃりぶら(里山サイクリング)、さとぶらカフェも行います。また、別の場所にあった事務所機能も遠野駅前の旅産直に夏頃に集約する予定です。皆様の引き続きの応援よろしくお願いいたします。



オンライン料理教室の実施



マウンテンバイクを使った里山散歩



宮守川上流生産組合と協働事業開始



GW 中心に県内の宿泊客も農家民宿利用

- 正会員 (43)**
青木 辰司 佐々木 芳夫
浅沼 亜希子 下 弘明
阿部 英之助 白幡 宏
荒川 栄悦 菅原 卓
石田 久男 高橋 真
稲垣 静枝 小野寺 春香
江川 幸昌 立花 功
及川 明光 千葉 和
小笠原 晋 寺川 重俊
奥寺 晴夫 徳吉 英一郎
菊池 貴久子 中島 かおり
菊池 孝二 中島 淳
菊池 茂勝 中村 恭香
菊池 新一 新田 修
菊池 大司 新田 勝見
菊池 千恵子 望月 孝
菊池 敏行 糠森 隆
菊池 ナヨ 嶋山 洋平
菊池 瞳 堀江 清次郎
昆 明美 山田 信和
佐々木 憲康 山田 英岐
佐々木 康行
- 準会員 (11)**
海老 糸子
奥田 裕規
菊池 邦和
菊池 登志子
菊池 政洋
草刈 朝陽
齋藤 理恵
下関 一男
鈴木 裕紀子
外館 聖八朗
田村 隆雅
馬場 明雄
林 輝泰
- サポーター (14)**
浅野 良子
石川 洋
今井 修之
岡 律子
加藤 宏泰
門脇 耕一
川島 亜紀子
菊池 徹哉
菊池 真貴子
菊池 恵美
小山 理夫
鈴木 寛志
高橋 史
高橋 洋子
沼田 政子
平塚 明
水野 雄史
山本 マキ子
渡邊 和寛
伊藤 由紀子
- 役員**
会 長 菊池 新一
副会長 新田 勝見
徳吉 英一郎
理事 糠森 隆
荒川 栄悦
菊池 茂勝
浅沼 亜希子
奥寺 晴夫
小笠原 晋
佐々木 憲康
菅原 卓
菊池 貴久子
監事 菊池 千恵子
佐々木 康行
- 事務局スタッフ**
菊池 新一
小笠原 晋
田村 隆雅
桑畑 学
菊池 久美子
琴畑 節子
菊池 佳菜江
計7名
※2021年5月末現在



遠野の旬の旅を随時販売中
遠野旅産直



2020年度を写真で振り返る

「自粛」の続いた1年でした。社会や個人の価値観が大きく転換した1年でもありました。だからこそ、「出来ること」を探索し、「準備」を図り、「大学生の現地活動」「オンライン」「市民向け企画」「被災地支援」に取り組みました。

開業準備 民泊開業6軒

新規開業4軒(奥寺晴夫さん、奥寺栄一さん、宮澤静江さん、菊池秀悦さん)、民泊新法から旅館業への切り替え2軒(菊池大司さん、打越義之さん)となりました。一般旅行者など営業活動として幅広い宿泊客を受け入れられます。コロナ禍だからこそその準備として事務局も全面サポート。検討中の方が3軒います。開業を検討される方はお気軽にご相談ください。



Hop farmer 宮(宮澤静江)

オンライン GT 農泊講座 & 東北ツアー大同時開催

12月3日「コロナ禍での東北地方におけるツーリズム」と題し、農水省農泊推進室富田室長や民泊による地域づくりを行う百戦錬磨上山社長の講話と山里初披露「オンライン生配信型ツアー」を100名参加で実施。



松林堂さん



オンライン配信の様子

オンラインと現地活動 遠野 GT × 被災地支援ツアー

10年目になる法政大学ボランティアセンター主催の被災地支援活動を11月に数名の参加で実施しました。大槌町の市民交流施設おしゃっちでの草刈りや館内装飾などのボランティア活動と遠野のグリーン・ツーリズムを内容にした新企画を実施。3月にはオンラインの被災地スタディツアーも現地30名、オンライン0名参加。2021年度も実施予定です。



被災地ボランティア

被災地支援 なりわい支援

県内の団体と協働した県復興局の事業で「なりわいの支援」を実施しました。震災10年目の個人経営の事業者へ寄り添いながら商工会と連携し、継続的かつ発展的な方法を一緒に模索しました。三陸沿岸の商品を集めたマルシェも「カワトク」「県内道の駅」で開催し、好評でした。スタッフも県内すべての会場で販売員をしました。



販路開拓講座



マルシェ

研修準備 秋田藤里視察 11月4-6日

2018年～粕毛集落で6軒農家民宿と現地のNPO法人が集落全体で交流事業を仕掛けている様子を10名で研修に行きました。2泊ゆっくりと秋田県藤里の民泊、体験、NPOの取り組みを学びました。



農家民宿の外観



交流の様子

オンライン

山里ネットスタッフがインターネットで生配信をする企画を多く実施しました。被災地支援の一環として「遠野のひなまつり」と「フラワーアレンジメント」(松田生花店)を内容に陸前高田や大槌の方々約50名が参加しました。遠野を体感で来たという好評でした。



花壇整備活動

被災地支援 コロナ禍のコミュニティづくり

東日本大震災の被災地ではコミュニティの再構築が課題です。発災当時から支援をしている大槌町と陸前高田市の公営住宅や周辺住民を対象にサロン企画を社協や自治会と協働し実施しています。中止した企画は多くありましたが、手芸講習会、花壇整備活動、刃物研ぎ講座など地域内の講師を招聘し、コロナ禍でも開催できる方法を模索した1年となりました。県の補助や民間寄付を活動資金に2021年度も継続していきます。



大槌町の鹿小物づくり

編集後記 スタッフの声

19年度目を迎えます。事務局の業務担当者も大きく変わりました。スタッフで分担し遠野市内130名以上の協力者に伺いました。今までの山里ネットの「ウリ」を改めて再確認しました。一層、社会や地域のニーズに耳を向け対応していく柔軟さを持ち、幅広く遠野市民と協働できる旅産直事業を中心に丸となって取り組んでいきます。笑いと真剣さの絶えない山里ネットに会員の皆さんに引き続き応援をいただければ幸いです。



市民企画 地元を楽しもっキャンペーン!

10~12月に遠野市民限定で「まちぶら」「さとぶら」の販売。参加者からは「前から行こうと思っていたので」「遠くに行かなくても十分楽しめた」等の好評価を得て、家族や子ども会、友人同士など計300名の参加がありました。2021年度も実施を計画中です。



合宿好評 遠野自動車合宿免許好調

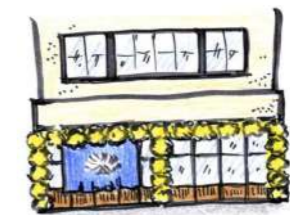
設立当初から遠野ドライビングスクールとの協働事業「グリーン・ツーリズム型合宿自動車免許」が令和2年度コロナ禍でも好調でした。生徒は事前検査を行い、各施設で感染症対策を行いながらの実施でした。体験メニューは自粛する期間もあり33人(前年比△136)、農泊0人(前年比△13人)で減少傾向でしたが、合宿生は471人(前年比△56人)でした。



2020年度を数字で振り返る

- 遠野民泊協会 … 136軒(±0)
- 農村型ワーキングホリデー … 参加:0人/日(-10)、受け入れ:3軒(±0)
- 遠野ドライビングスクール … 合宿生参加者:471人(▲56) 内GT体験者数33人(▲136)
- 農村民泊体験者数 … 延べ26人(▲1,382) 内外国人1人(▲47)
- 内体験型教育旅行 … 民泊校数:2校(大学ゼミ含む)(▲13)、生徒数:延べ9人(▲682)
- 東北ツーリズム大学 … 実施回数:1回(±0)、参加者:延べ100人(+35)
- 被災地のコミュニティ作りのための交流活動:219回(+46)
(編み物・お茶っこ・お花見・演芸演奏・染物・果実収穫等)
- 視察受け入れ回数 … 0回(▲24)(事務所等での講話を主な内容にした対応の回数)
- メディア掲載回数 … 2回(▲8)

※()は前年度対比



遠野旅産直 🔍 検索



ふるさと村でマウンテンバイク



わさびご飯試食、7月から販売